

- 延岡市では近隣の大型製材工場や大型バイオマス発電所の稼働により、木材需要が高まり、伐採面積が増加している。また、森林所有者の高齢化や後継者問題のため、再造林をはじめとした森林整備の対策が必要となっている。
- そのため、森林の持つ公益的機能の発揮及び循環型林業の促進を図るために、再造林への支援をはじめ、保育作業や作業路の開設の支援を行い、森林資源の確保につなげた。
- また、森林所有者の造林意欲が希薄なことから将来の林業の継続が危ぶまれるが、各種支援を行うことで循環型林業の確立につながるだけでなく、植栽やその後の保育について安定的な雇用の確保が可能となり、山村地域の貴重な産業となっている。

□ 事業内容

循環型林業促進事業

【事業費】 35,926千円（うち譲与税5,970千円、その他29,956千円）

【実績】 新植211.4ha、下刈993.9ha、除伐（7～10年生）143ha
除伐、保育間伐150ha、作業路開設1,560m



新植状況

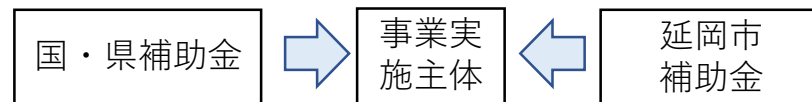


防護柵設置



除伐状況

□ 事業スキーム



□ 工夫・留意した点

・新植から下刈り、除伐、保育間伐と支援することにより、林業施業に空白の期間がなくなり、年間通して作業ができるようになった。

・再造林に向けて、伐ったらすぐ植える体制となるよう森林所有者の負担をなるべくなくすよう支援を行い、再造林に対する意識の向上に努めた。

◇ 基礎データ

①令和4年度譲与額	150,100千円
②私有林人工林面積（※1）	20,395ha
③林野率（※2）	84.7%
④人口（※3）	118,394人
⑤林業就業者数（※4）	378人

※1、2：「2020農林業センサス」より、※3：「R2国勢調査」より

※4：「R2国勢調査」より